

要注意！ 健康食品

— ホスピタルダイエット —

ホスピタルダイエットという言葉を目にしたことはありますか？ホスピタルダイエットとは、タイなどの病院により、ダイエットを目的として処方されているもので、国内でもインターネット上の販売サイトで簡単に、個人輸入という形での購入・入手が可能な現状です。ホスピタルダイエット処方では有名なタイの病院では、1日に2,500人以上、年間約100万人分もの処方を行っています。また、海外旅行を兼ねて現地の病院で直接処方を受ける「ホスピタルダイエットツアー」も企画されています。言葉の通り「病院で医師から処方される薬」を飲むダイエット法であるため、“安全・安心で簡単に痩せられる”というイメージの宣伝を掲載するインターネットサイトも見られます。しかし、2002年頃から、これらの製品の摂取が原因となった死亡事例を含む健康被害が全国的に発生しています。ホスピタルダイエットには、麻薬及び向精神薬取締法で流通が厳しく規制されている向精神薬や、国内で未承認の医薬品等が含有されており、嘔吐や下痢、幻覚等の意識障害等を引き起こす可能性があり、危険性を伴うものです。

横浜市でもホスピタルダイエットによる健康被害が発生しており、当所にて、原因究明のための成分検査等を行いました。









「ホスピタルダイエット」の包装



検査結果



No	写真	検出成分	作用	服用後の症状
1		フロセミド	利尿作用、降圧作用	頻尿、多尿、めまい、頭痛 等
2		甲状腺末	甲状腺ホルモン作用	口渇、体温上昇、月経不順 等
3		甲状腺末	甲状腺ホルモン作用	口渇、体温上昇、月経不順 等
4		フルオキセチン 【国内未承認(国外では向精神薬として承認)】	抗うつ作用	睡眠障害、倦怠感、頭痛、めまい 等
5		ビサコジル	大腸のぜん動運動促進作用など	下痢、軟便、腹痛 等
6		シブトラミン 【国内未承認】	中枢性食欲抑制作用	食欲不振、血圧上昇、口渇 等

今回検査した製品の多くは、医師の処方箋が無ければ購入できない医薬品成分を含有していました。また今回の事例だけではなく、**ホスピタルダイエット**にはフェノバルビタールやジアゼパム等の向精神薬が含まれているものも多く見られます。向精神薬の購入については、インターネット等で注文する個人輸入であっても麻薬及び向精神薬取締法で禁じられています。過去に神奈川県下で**ホスピタルダイエット**の服用による死亡事例がありましたので、このような製品を入手して服用しないで下さい。なお、お土産にも注意してください。服用により体調に異常が現れた場合には、直ちに服用を中止して医療機関へ受診するとともに、最寄りの福祉保健センターにお申し出下さい。

ダイエットは、肥満由来の生活習慣病予防のためには必要なことと思います。しかし、肥満でもなく健康であるのに、ただ体重を減らすだけのダイエットについては、もう一度考え直してみましょう。くれぐれも**ホスピタルダイエット**のような健康食品で痩せようとする無謀なダイエットはやめましょう。